

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	道路改良工事(村道3-22)木戸脇	担当者	建設農林課	管理建設係
-------	-------------------	-----	-------	-------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	4. 自然と共生する、便利で安全安心な村／生活環境の整備／生活基盤の整備			
関連する主な計画等				
根拠法	村道新設改良及び維持管理規程			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	村民			
事業開始年	H26	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	H27 <input type="checkbox"/> 終期未定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	当路線は当該地域の生活道路、通学道として重要な路線である。特に第一小学校側の石積みは老朽化が進んでいる。道路整備により安全な通行を確保する。					
具体的取組	村道改良					
実績・効果	道路整備により、地域住民、学生の通行の安全と利便性を図ることができる。					
歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	工事請負費	37,050				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)		15,001	37,050		
	うち一般財源		15,001	37,050		
	うち補助金					
	うち個人負担					
従事職員 (人)	正規職員		2	2		
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	当該自治会から要望をいただいている	A
	手段、成果は妥当か	a	安全確保のため妥当	
	対象者の設定は妥当か	a	共同で使用するもの等への負担なので妥当	
	村の関与は妥当か	a	道路管理者であり妥当	
有効性	期待された効果が得られたか		地域住民の安全確保が図られている	A
効率性	コストの削減に努めたか	a	予算を縮小することは不可能	A
	効率性を高める工夫はされたか	a	行程会議を開き協議しながら工事を進めた	
公平性	受益者負担は適切か		道路管理者の村が負担する	A
総合評価	A			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	工期が7ヶ月の予定を石積工を自然石で行った為に3ヶ月延長となった、専門的な石工等を増員して行えば、地元からの苦情等は減ったと思われる。
今後の取り組み	工事の時期、方法、規制について各方面との調整を行う。